

令和8年度

危険物安全週間

令和8年6月7日(日)～令和8年6月13日(土)

危険物安全週間は、平成2年に消防庁により制定され、以来毎年6月の第2週(日曜日から土曜日までの1週間)に実施されております。

◎目的 今日、石油類をはじめとする危険物は、事業所等において幅広く利用されるとともに、国民生活に深く浸透し、その安全確保の重要性は益々増大しています。このため、事業所における自主保安体制の確立を呼びかけるとともに、広く国民の危険物に対する意識の高揚と啓発を図ることとしたものです。



消防庁/都道府県/市町村/全国消防長会/一般財団法人全国危険物安全協会

危険物は慎重な
取扱いを心がけ
ましょう。



身近な危険物！

リチウムイオン蓄電池の

火災にご注意を！



携帯端末などを外出先でも充電できるモバイルバッテリーなどが急速に普及し、これらに使用されているリチウムイオン蓄電池等の**小型充電式電池**からの火災が増えています。

主にゴミとして捨てられた小型充電式電池の発火が多く、その被害は年々増加しています。

私たちの身近にある製品も取り扱い方を間違えると重大な火災事故につながる恐れがありますので、以下の注意事項を守り、火災予防にご協力ください。

小型充電式電池とは（一例）…



小型ゲーム機



加熱式たばこ



モバイルバッテリー



スマートフォン

小型充電式電池からの火災を防ぐには…

- 取扱説明書どおりに使用し、圧力や衝撃を与えない。
- 充電器やバッテリーは、付属品やメーカー指定のものを使用する。
- 高温や水に触れる場所を避けて、適切に保管する。
- 膨張、異音、異臭などの異常がある場合は使用しない。
- 一般ごみに混ぜると、ごみ処理施設やごみ収集車の火災につながるため、絶対に他のごみに混ぜない。
- PSEマーク（安全基準の検査に合格した電気製品に表示されるマーク）が付いていて、製造・販売元が明示されている製品を使用する。



全国危険物安全協会「意外と身近に、危険物～リチウムイオン電池の火災に注意～」

https://www.zenkikyo.or.jp/znk-w/wp-content/uploads/2023/04/public_leaflet_2304.pdf

小型充電式電池の処分方法は…

- リチウムイオン蓄電池等の小型充電式電池を処分する際は、メーカーや販売店の製品回収サービスを利用するか、JBRC 協力店に置いてある「リサイクル BOX」、もしくは「使用済小型家電回収 BOX」に入れてください。
- JBRC 協力店については、以下のサイトより検索ください。
[一般社団法人 JBRC 『協力店・協力自治体』\(外部リンク\)](#)
- 「使用済小型家電回収 BOX」の設置場所については、以下のとおりです。
坂井市役所本庁（本庁舎前の物置）
三国市民センター内（正面出入口付近）
丸岡支所（南側倉庫内）
春江支所内（正面東側出入口付近）
ピアゴ丸岡店内（正面南側出入口付近）
PLANT-2 坂井店内（総合案内所付近）
みくにショッピングワールド・イーザ内（総合案内所付近）
福井県民生活協同組合ハーツはるえ店内（休憩スペース付近）



リサイクル BOX



使用済小型家電回収 BOX

関連情報（外部リンク）…

[電池・バッテリー「4.ごみ処理施設での発火」](#)

[（独立行政法人製品評価技術基盤機構）](#)

[モバイルバッテリー「6.高温下に放置して発火」](#)

[（独立行政法人製品評価技術基盤機構）](#)

[「ごみ捨て火災」、被害は 100 億円超え！](#)

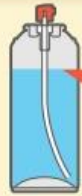
[～充電式電池は正しく捨てましょう～](#)

[（独立行政法人製品評価技術基盤機構）](#)

身近な危険物！

スプレー缶による火災に注意！

スプレー缶って危険物に関係あるの？



危険物は、液体状態でスプレー缶に内蔵されています

殺虫剤、消臭剤、制汗スプレー、ヘアスプレーやDIYに使用する塗料などのスプレー缶には、消防法の危険物に該当する液体が用いられているものも多く、危険物が含まれている製品には、その危険物の品名や「火気厳禁」などの使用上の注意等について表示されています。

身近にあるスプレー缶



殺虫剤



消臭剤



制汗剤



ヘアスプレー



塗料



潤滑剤

スプレー缶取扱いのここに注意！



1 火気の近くで使用しない！

可燃性ガスを含むスプレー缶を火気の近くで使用すると、ガスに引火し急激に燃え広がるおそれがあります。



2 暖房器具の近くや直射日光が当たる場所など、高温になる場所にスプレー缶を置かない！

缶が熱せられると、内部のガスが膨張して内圧が上がり、缶が破裂するおそれがあります。



3 使用時や使用直後は十分な換気を行う！

可燃性ガスを含むスプレー缶の使用時は、ガスが滞留しないように気をつけましょう。換気が終わるまでは、ライターや火花が発生する機械を使用しないでください。



4 最後まで中身を出し切ってから廃棄する！

スプレー缶にはガスを出し切るためのガス抜きキャップ(※)が装着されていますので、ガスを出し切るために、ガス抜きキャップを使用しましょう。なお、中身を出すときは、屋外の風通しのよい場所で実施してください。廃棄方法は、自治体の指示に従って廃棄してください。

※ 一部のスプレー缶商品には付いてないものもあります。

【管内での火災事例】

ごみ収集車で不燃ごみを回収した際に、混じっていたスプレー缶が圧縮され破裂したことにより、残っていた可燃性ガスが漏えいし、衝撃火花により引火し周囲のごみ類に着火した。

お問合せ

所属 嶺北消防本部予防課

連絡先 TEL：0776-51-8435

E-mail yobou@reihoku-fd.jp